

新型コロナウイルス感染対策の詳細

◆館内での感染防止対策について

1. 商品の個包装、フィルム掛け対応の実施

原則全商品の個包装対応を実施しています。ただし焼きたてなど個包装対応が困難な場合は、衛生面を第一に考慮し、おいしさを損なわないようシートをかぶせるなどの対策を行っています。

2. 試食販売の中止

3. 対面での接客を行う場所では、飛沫感染防止のためアクリルパネルを設置

4. アルコール消毒の実施

トレイ、トングは、洗浄後のアルコール殺菌と定時交換を実施し、接触が多い箇所(買い物かご、レジ、ゴミ箱、トイレ、ボタン、ドアノブ、手摺など、)は、アルコールで定時消毒を行っています。

5. 定期的に館内換気を行います(下図参照)

広島アンデルセン 建築設計上の換気計算

フロア		換気回数
5F	スカンジナビアホール	5.54 回/時間
4F	デンマークルーム	7.93 回/時間
	コペンハーゲンルーム	9.42 回/時間
	プライベートダイニングルーム	19.28 回/時間
3F	カルチャールーム	11.14 回/時間
	マーガレットルーム	10.15 回/時間
2F	レストラン	4.01 回/時間
1F	ベーカリーマーケット	2.17 回/時間

◆お客様へのお願い

ご来店いただいたお客様には、館内でのマスクの着用、入店時の手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保にご協力いただきます。

◆従業員の健康状態の管理

就業前後の従業員の体温測定、マスクの着用、マスク着脱時の手洗いと消毒、健康管理のチェックを実施しています。

今回、新店における新型コロナウイルス感染防止対策を検討する中で、広島大学病院感染症科 教授の大毛 宏喜氏に専門家の立場からアドバイスをいただいています。

大毛 宏喜 氏

国立大学法人広島大学病院 副病院長(経営改善担当)感染症科 教授

NPB(日本野球機構)とJリーグ(日本プロサッカーリーグ)でつくる「新型コロナウイルス対策連絡会議」の地域アドバイザーも務められています。